

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		平成13年度		根拠法令・例規等	
事業開始年度	平成13年度				
総合計画	大項目 基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問	担当課(室)
	中項目 基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり		社会福祉課
	小項目 施策	03	障がい者(児)福祉		
事務事業名		04	障害者福祉増進事業	合先	職・氏名 障害者福祉係長 江見清人
				電話	64-1824
				このシート作成に要した時間 1.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	知的・身体障がい者		
目的(何のために)	障がい者がスポーツを通じて交流を深め、大会等へ参加することで福祉の増進を図る。また、身体障がい者の社会参加、自立更正を進める。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	障がい者がいるいるなスポーツ大会等に参加・交流を深めることで福祉の増進を図りたい。		

事業の実績			Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	身体障害者福祉増進事業	岡山県障害者スポーツ大会への参加を促進し、福祉の増進を図る。		
	身体障害者福祉協会補助事業	補助を行うことで身体障がい者の社会参加、自立更正を進める。		

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績			
	事業費	直接事業費	千円	378	834	691			
	必要人員費	人員件費	千円	0.03人	265	0.06人	436	0.25人	1,823
	事業費	費	千円	643	1,270	2,514			
	財源	国	支出金						
		受	益者負担						
繰		入金							
市	繰	入金							
	市	債							
その他( )									
一般財源			643	1,270	2,514				
受益者負担比率		%	-	-	-				

結果指標	結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	スポーツ大会参加人数		説明	岡山県スポーツ大会に参加した人数		
	結果指標量			61	45	38
	対前年比	%		-	73.8%	84.4%
	活動コスト	円		643,000	1,270,000	2,514,000
単位当たりコスト			10,541	28,222	66,158	

事業の成果		平成22年度					平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
スポーツ大会参加者	成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値			
	目標値(A)		70	70	70	60			
	実績値(B)		61	45	38	到達目標値			
達成率(B/A)			87.14%	64.29%	54.29%	70			
成果指標設定の考え方・式や説明									
岡山県スポーツ大会への参加者数									

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要性	市民ニーズ	妥当性評価
	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある			A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
効率性の評価	コスト	手段		効率性評価
	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている			A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
有効性の評価	目的達成度	市民参画度		有効性評価
	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	スポーツ大会の参加者が年々減少していることから、積極的に広報等で情報提供し、参加者を増やすように努める。

総合評価		総合評価
大会に参加する選手だけでなく、応援者の参加もあり、障がい者同士の親睦が図られており、目的に沿った事業が実施されている。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

平成26年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了					
取組目標	スポーツ大会の参加者が年々減少していることから、積極的に広報等で情報提供し、参加者を増やすように努める。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら